

平成17年度 横浜国立大学法科大学院入学試験（A日程）
小論文試験試験問題（試験時間 13：00～16：00）

問題1 以下の文章を読み、設問に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『アメリカ時代の終わり(上)』チャールズ・カプチャン 著 (坪内淳 訳)
(2003年 日本放送協会出版)
211ページ4行目9字～212ページ17行目

問1 下線部の「民主主義の輸出」とはどのような意味か。具体的事例を挙げて説明しなさい。
(200字以内) (注:「民主主義の輸出」は、問題文引用箇所中、1箇所のみ)

問2 著者は民主的平和学派の命題について歴史的事例では説明できないとしている。では、
民主的平和学派の命題が、説明力を持つようにするにはどのように立論すべきか。本文中に
挙げられた論拠を要約した上で、それ以外の論拠を挙げなさい。(300字以上400字以内)

問3 民主的平和学派の命題に、歴史的事例からではなく、論理的に反論しなさい。
(200字以内)

問題2 以下の(A)(B)(C)(D)の4つの文章は、いずれも教科書検定制度をめぐってかかれたものである。これらを読み、以下の設問に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

(A)『まともな人』養老孟司 著(2003年 中央公論新社)

41ページ7行目(表題除く)～42ページ3行目

42ページ14行目16字～43ページ12行目27字

(B)『なぜ教育論争は不毛なのか』苅谷剛彦 著(2003年 中央公論新社)

194ページ11行目～196ページ3行目

(C)『教科書検定の問題点』兵頭俊夫 著

(2002年 日本物理学会誌第57巻第5号310ページ)

312ページ2段12行目～3段11行目

(D)『『あの戦争』を思う』芦部信喜 著

(1988年 有斐閣 法学教室第98号5ページ)

全文

問1 教科書検定制度に関する(A)(B)(C)(D)の主張を、相違点が明らかになるように要約しなさい。(300字以内)

問2 高等学校で使用する教科書についての検定制度はどうあるべきか。(A)(B)(C)(D)それぞれの主張を踏まえて論じなさい。(1000字以内)